

科目名	発達障害作業治療学特論	担当教員	佐藤 拓也 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-------------	------	---------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
作業療法学専攻	専門科目	選択	4年次	後期	1単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR42G	②、③					

科目概要	文献抄読を通じて、発達障害領域で作業療法の対象となる疾患の特徴や、作業療法支援の実例から、対象児の有する様々な要素によって優先されるべき課題など、具体的な介入の視点、ポイントについて理解を深める。また、障害を有する児に対して治療手段として用いられる玩具・遊具などの持つ要素について理解し、その作製や活用法について考察を深める。既習の知識に基づいたこれらの課題を通して、発達障害領域における作業療法の実践についての探求心を深める。
学習目標	① 発達障害領域の作業療法が関与する課題について関心を高め、現状についての調査、今後の課題について考察できる。 ② 治療過程で用いられる玩具・治療具について考察を深めることで分析、考案の視点を養う。 ③ 自らの調査、考察結果について総合的に整理し、報告することが出来る。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	テーマの調査・報告	オリエンテーション 発達障害領域の作業療法に関するテーマの探索	発達障害領域の作業療法のうち関心あるテーマについて調べ、焦点化することが出来る。	
2	テーマの調査・報告	発達障害領域の作業療法に関するテーマの報告	焦点化したテーマの概要について報告が出来る。	
3	テーマの調査・報告	テーマに関連する対象児の概要について	関心ある対象児の特徴、課題、OT支援などの概要を整理し報告が出来る。	
4	テーマの調査・報告	テーマについての現状、課題について	テーマについての現状、課題について報告が出来る。	
5	治療具、玩具	関連する治療具、玩具の概要について	テーマに直接関連する／対象児で用いられる治療具、玩具の概要について報告が出来る。	
6	治療具、玩具	関連する治療具、玩具の分析・作製の考案	上記の治療具、玩具の持つ治療的要素、適用法、課題、作製する場合の具体的提案を報告が出来る。	
7	治療具、玩具	関連する治療具、玩具の効果判定法について	治療具、玩具の効果判定方法について報告が出来る。	
8	まとめ	プレゼンテーション	調査したテーマ、玩具／治療具について総合的に整理し、報告が出来る。	
評価方法		課題(100%)		
課題に対するフィードバック		講義中、講義終了後に質問を受け、回答する。		
教科図書		特に指定しない。		
参考図書		発達障害基礎論、発達障害作業治療学など関連する授業で用いた教科書など		
学習の準備		(予習) 自ら課題を設定し、調査・報告の準備を行う (90分)。 (復習) フィードバックを基に適宜、調査・報告内容の確認、改善を行う (90分)。		
オフィスアワー		火曜日～金曜日 13時～17時 随時		

担当教員欄に※印を  
附した教員の実務経  
験